

氏名	田口孝行	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	地域理学療法学、老年社会学				
学位	博士(保健科学)				
学歴	1990年秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科、2000年放送大学教養学部生活と福祉専攻、03年筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻(修士課程)リハビリテーションコース、07年東京都立保健科学大学大学院保健科学専攻(博士課程)障害予防・機能回復分野				
経歴	1993年東京都リハビリテーション病院リハビリテーション部理学療法科、98年東京都立保健科学大学保健科学部理学療法学科助手、2001年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、11年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科准教授、14年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、埼玉県理学療法士会(健康増進部)、老年医学会、老年社会科学会、日本公衆衛生学会、日本保健科学会、日本PNF学会(監事)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	足趾接地の有無が立位最前傾位での足圧中心位置に及ぼす影響	共著	理学療法－臨床・研究・教育23:21-24	抜井周子、田口孝行、原和彦	2016.1
2	片足立位時の非支持脚拳上方向の股関節角度の相違が支持脚金活動に与える影響	共著	理学療法－臨床・研究・教育23:25-28	會田萌美、武井圭一、奥村桃子、平澤耕史、田口孝行、山本満	2016.1
(3) 学会発表					
1	足圧中心前方移動距離と足趾荷重量・足趾把持筋力との関連	共著	第50回日本理学療法学会大会(東京)	抜井周子、田口孝行、原和彦	2015.6
2	6種類のトレーニング方法における腹直筋・腹斜筋活動の比較	共著	第50回日本理学療法学会大会(東京)	遠藤洋平、田口孝行	2015.6
3	通所リハビリテーション利用者の主観的QOLに関連する身体的・心理的・社会的要因	共著	第50回日本理学療法学会大会(東京)	新岡大和、田口孝行	2015.6
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文科省 大学改革推進等補助金 大学間連携共同教育推進事業:平成27年度計37,946千円	彩の国大学連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成(研究分担者、埼玉県立大学リーダー)			平成24年10月～平成29年3月
2	平成26年度 科学研究費 基盤研究C(研究分担者):27年度計820千円	公的団地居住高齢者 複合介入プログラム(研究分担者)			平成26年10月～平成29年3月
3	平成27年度 科学研究費 基盤研究C(研究代表者):合計4,680千円	自治会主体の定期的な体操教室開催による介護予防・健康づくりの効果(研究代表者)			平成27年4月～平成30年3月
4	埼玉県立大学 奨励研究(学長指定研究)	武里団地における住民主体の健康なまちづくり－若者と築く「健康長寿武里モデル」(研究分担者)			平成27年4月～平成28年3月
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	地域理学療法学・科目責任者(理学療法学科3年前期15時間)	2015.4～2015.9	介護保険等の社会保障制度の説明、地域における理学療法の実践について授業を実施した。		
2	臨床運動学・科目担当者(理学療法学科3年前期30時間うち24時間担当)	2015.4～2015.9	主に失調症と脊髄損傷者における臨床動作分析に関する授業を行った。		
3	リハビリテーション看護・科目担当者(看護学科3年後期15時間うち2時間担当)	2015.10～2016.3	脳卒中の理学療法に関する授業を行った。また、関節可動域練習方法や移乗介助方法について実技も含めて授業を行った。		
(2) 演習					
1	神経障害理学療法学・科目責任者(理学療法学科2年後期15時間)	2015.10～2016.3	脳卒中の理学療法に関する概略の授業を行った。		

2	神経障害理学療法学・科目担当者(理学療法学科2年後期45時間うち26時間担当)	2015.10~2016.3	主に脳卒中の生活期理学療法、パーキンソン病の理学療法について授業を行った。	
3	地域理学療法学演習・科目責任者(理学療法学科3年後期30時間)	2015.10~2016.3	地域連携に関する講義・演習を4大学連携プロジェクトと共同で実施した。また、地域理学療法の実際についてゲストを招聘してイメージを持たせた。	
4	老年期障害理学療法学技術学演習・科目責任者(理学療法学科3年後期15時間)	2015.10~2016.3	武里団地プロジェクトの一環として、学生による地域住民への健康講座を行い、学生が授業で得た知識を地域に情報発信する授業とした。	
(3) 実習				
1	ヒューマンケア体験実習(全学1年前期45時間)	2015.4~2015.3	主任科目責任者として、本実習の運営に関わった。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究	2015.4~2016.3	3名担当。「遊脚側の下肢加速度・立脚側の下肢筋力・推定骨量との関係」「足把持力と踏み出し動作調節能力および片足立位保持調節能力との関係」「仮名ひろいテストと二重課題条件下のバランス能力との関連」	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	平成27年度埼玉県立大学専門職連携講座	埼玉県立大学	専門職連携アドバンス講座～チームマネジメント編～	2015.12
2	第16回日本赤十字看護学会学術集会テーマセッションⅢ 連携の中でしなやかな強さが育つということ、育てるとということ	第16回日本赤十字看護学会学術集会	「彩の国大学間連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成」の取組	2015.6
3	第74回 日本公衆衛生学会総会 シンポジウム13 彩の国発の地域基盤型専門職連携教育による地域包括ケアシステムの構築	日本公衆衛生学会総会	彩の国連携力育成プロジェクトで育成を目指す人材	2015.11
4	三郷市市民生活部、健康づくりをすすめる会inみさと 健康づくり講演会	三郷市市民生活部、健康づくりをすすめる会inみさと	ロコモティブシンドロームを予防するために	2015.11
5	平成27年度埼玉県立大学FD研修会・教育改善懇談会	埼玉県立大学FD部会	「大学教育におけるルーブリック評価の潮流と導入の実際」指定発言者	
6	転倒予防講習会	足立区江北保健総合センター	転倒予防体操の基礎	2015.7
7	転倒予防講習会	足立区竹の塚保健総合センター	転倒予防体操のコツ、健康チェック、体力測定	2015.9
8	彩の国生きがい大学伊奈学園 講義	公益財団法人いきいき埼玉 彩の国生きがい大学伊奈学園	肩こり・膝痛・腰痛予防のための運動方法	2015.11
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市	越谷市介護保険運営協議会 会長	2年(1期目)継続3期目	
2	越谷市	越谷市地域密着型サービス運営部会 部会長	2年(1期目)継続3期目	
3	越谷市	第6期越谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく介護保健施設等整備に係る審査会 委員	2年(1期目)継続3期目	
4	三郷市	平成27年度三郷市シルバー元気塾特別講座実行委員	1年	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	教育開発委員会(理学療法学科代表)			
2	教務運営部会(保健医療福祉科目担当者会代表)			
3	「専門職連携・協働」推進事業専門部会 部会員			
4	研究開発センター準備部会員			
5	保健医療福祉科目担当者会(ヒューマンケア体験実習担当)			
6	埼玉県立大学大学院博士課程前期 入試問題作成委員			

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)		
受賞名	主催	受賞年月
1 該当なし		
7. 特許の保有状況		
特許名	特許番号	登録年月
1 該当なし		
8. 特記事項		
該当なし		